

事務事業名	企業進出支援補助事業				担当	産業部 商工観光課 商工業係				
政策名	3	「にぎわいづくり」～まちの活力アップ!～				☐ 総重（総合計画重点事業）	☒ 総新（総合計画新規事業）			
施策名	3	工業の振興				☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 戦新（総合戦略新規事業）			
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ				
法令根拠	真岡市オフィス進出等促進補助金交付要綱					☒ 毎年度実施（開始年度 令和6 年度～）				
予算科目	1.一般会計	7.商工費	1商工費	2商工振興費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）				
予算科目										
予算科目										
事業概要	本市への企業のオフィス進出等を促進し、地域産業の振興及び就業の場の確保を図る。 <補助対象者>・本市内に本社を新たに開設または移転する会社 ・本市内に初めてサテライトオフィスや支社等の事務所を開設する会社 <補助対象区域>市内全域（但し、工業団地等内で、既存企業補助金に該当する場合は対象外） <補助内容>・オフィス開設に係る改修及び改装に要する経費 ・オフィスに必要な物品購入に係る経費 ・オフィス開設等に伴い、備品等運搬に係る経費 ・オフィス開設等時に新たに市民雇用 1人につき25万円 <補助率>・1/2 <補助上限額>・本社開設・移転 200万円、サテライトオフィス・支社開設 100万円 ・雇用補助 250万円（10人まで）									

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）				④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
6年度実績 ・市HPへの掲載、金融機関及び商工団体、栃木県東京事務所への周知業務 ・市外（県内）から本市への本社移転企業1件申請				名称		単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア 補助金交付対象企業		社				1	1
				イ 補助金交付額		千円				1,958	4,500
				ウ							
7年度計画 ・市HPへの掲載、金融機関及び商工団体、栃木県東京事務所への周知業務 ・市外（県内）から本市への本社移転相談1件 ・企業からの問い合わせ等への対応				エ							
				オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等				⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
本市内へオフィス等進出企業（本社開設や移転及びサテライトオフィスや支社等の事務所開設）				名称		単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア 本社開設・移転企業数		社				1	1
				イ サテライトオフィス・支社開設企業数		社				0	0
				ウ							
				エ							
				オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）				⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
本市内へオフィス等の進出を促すことにより、本市の産業の振興、就業の場の確保を図る。				名称		単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア オフィス開設等補助金額		千円				1,958	2,000
				イ 雇用補助金額		千円				0	2,500
				ウ 市民雇用数（補助対象）		人				0	10
				エ							
				オ							
② 総事業費の推移				単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	1,958	4,500		
			一般財源	千円	0	0	0	0	0		
	事業費計（A）			千円	0	0	0	1,958	4,500		

2. 1 次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 本市内への企業のオフィス進出等を促進ことにより、地域産業の振興及び就業の場の確保に結び付く。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 企業のオフィス進出等を促進することは、地域産業の振興につながり妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 企業のオフィス進出等は、地域産業の振興さらには就業の場の確保にも繋がりが、適正である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地はない ☒ 向上余地がある (評価理由) 本市へのオフィス進出等を検討してもらったための有効性のある周知方法を検討する必要がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる (類似の事務事業名：) ☐ 類似事業と統合・連携できない (類似の事務事業名：) ☒ 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 新規事業のため、削減の余地はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性 (改革案・実行計画) ☐ 廃止 ☒ 見直し (☐ : 目的妥当性 ☒ : 有効性 ☐ : 効率性) ☐ 統合 ☐ 継続 ・ P R 強化 ・ 有効性のある周知方法の検討	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(2) 課題、課題の克服の方向性 ・ 企業の本社開設・移転や事務所開設等は、計画的に行われることから、金融機関への周知を強化する。																								

4. 事務事業の 2 次評価結果 (事業の総括と事業の方向性)

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足 (説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える																								
(2) 2 次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																								
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☒ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☐ 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項																							
(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							